

2024年度 埼玉医科大学医学部 ユニット評価調査結果

令和6年3月17日

埼玉医科大学 IRセンター

＜調査の概要＞

ユニット評価調査は、ユニットの講義・実習・試験等がすべて終わった時に、教育内容、教育手法、試験等に対して学生がユニットごとに評価を行うものである。2024年度は、講義を主な教育方法とする1～4年生のすべてのユニットを対象として実施した。

＜調査の対象となったユニット＞

1年生9ユニット、2年生8ユニット、3年生13ユニット、4年生14ユニットの合計44ユニットが対象となった（表1）。

＜調査の内容＞

資料1に示す調査を無記名で行った。すべての設問をSMUパスポート上で回答する形式とした。その回答率を表1に示す。

表1 対象ユニットとSMUパスポート分の回答率

学年	ユニット名	回答率	学年	ユニット名	回答率	学年	ユニット名	回答率
1 年 生	行動科学と医療倫理	15.6	3 年 生	疫学	5.2	4 年 生	異状死の診断	7.4
	細胞生物学 1	7.4		感染	11.9		画像	14.8
	細胞生物学 2	32.6		血液	7.7		感覚器	27.4
	細胞生物学 3	31.9		呼吸器	8.9		感染	9.6
	人体の基礎科学 1	5.2		行動科学と医療倫理	5.9		環境と健康	8.1
	人体の基礎科学 2	57.8		循環器	4.4		救急・麻酔	11.9
	人体の構造と機能 1-1	14.1		消化器	35.6		行動科学と医療倫理	82.2
	人体の構造と機能 1-2	14.8		神経	4.4		地域医療とチーム医療	26.7
	人体の構造と機能 1-3	30.4		診療の基本	16.3		腫瘍	10.4
2 年 生	エネルギー系	5.7		腎・泌尿器	9.6		小児	8.1
	構造系実習	6.4		生殖器	7.4		精神	28.9
	行動科学と医療倫理	3.6		内分泌・代謝	7.4		皮膚・運動器	9.6
	情報系	6.4		免疫	12.6		母体・胎児・新生児	9.6
	生体防御総論	5.0	※ 回答率の単位は%				免疫	16.3
	調節系	5.0						
	病理総論	2.9						
	薬理総論	2.9						

【1】このユニットで修得すべき内容の分量に照らして、講義のコマ数はどうでしたか？ ※

1 年	2 年	3 年	4 年
人体の基礎科学1	病理総論	生殖器	画像（放射線）
人体の構造と機能1-3	行動科学と医療倫理	呼吸器	感染
人体の基礎科学 2	生体防御総論	内分泌・代謝	環境と健康
細胞生物学 3	調節系	行動科学と医療倫理	小児
人体の構造と機能 1-1	情報系	疫学	異状死の診断
	構造系実習		

（各学年上位 5 ユニット）

【2】各講義の内容は、シラバスに沿った内容でしたか？

1 年	2 年	3 年	4 年
人体の基礎科学1	行動科学と医療倫理	神経	異状死の診断
人体の基礎科学2	調節系	行動科学と医療倫理	画像（放射線）
人体の構造と機能 1-2	情報系	疫学	感染
人体の構造と機能 1-3	生体防御総論	内分泌・代謝	行動科学と医療倫理
細胞生物学2	薬理総論	感染	地域医療とチーム医療

（各学年上位 5 ユニット）

【5】講義の教え方は、この領域を教える講義としてよく吟味され、洗練されたものでしたか？

1 年	2 年	3 年	4 年
人体の構造と機能1-3	調節系	行動科学と医療倫理	異状死の診断
人体の基礎科学1	生体防御総論	疫学	行動科学と医療倫理
細胞生物学2	行動科学と医療倫理	生殖器	感染
細胞生物学3	構造系実習	神経	地域医療とチーム医療
人体の構造と機能1-2	病理総論	感染	母体・胎児・新生児

（各学年上位 5 ユニット）

【6】ここからの4問は試験についての質問です。試験は、シラバスに記載された目標の達成を確認するために行うものです。

この試験の目的に照らして、試験の出題形式（MCQ形式、記述形式、等）は適切だったと思いますか？

1 年	2 年	3 年	4 年
人体の構造と機能1-3	行動科学と医療倫理	生殖器	感染
人体の基礎科学1	エネルギー系	疫学	異状死の診断
行動科学と医療倫理	病理総論	神経	感覚器
細胞生物学2	生体防御総論	内分泌・代謝	精神
細胞生物学1	調節系	感染	画像（放射線）

（各学年上位5ユニット）

【7】試験の出題範囲は、シラバスに記載された学習目標に合致したものでしたか？

1 年	2 年	3 年	4 年
人体の基礎科学1	行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理	異状死の診断
人体の構造と機能1-1	調節系	生殖器	行動科学と医療倫理
人体の構造と機能1-3	生体防御総論	神経	精神
細胞生物学1	病理総論	循環器	画像（放射線）
行動科学と医療倫理	情報系	内分泌・代謝	地域医療とチーム医療
	構造系実習		

（各学年上位5ユニット）

【9】試験の出題範囲の分量は、1回の試験で出題される試験範囲の分量としてどうでしたか？

1 年	2 年	3 年	4 年
人体の基礎科学1	薬理総論	生殖器	感染
人体の構造と機能1-1	病理総論	疫学	異状死の診断
人体の構造と機能1-3	生体防御総論	感染	母体・胎児・新生児
細胞生物学1	構造系実習	神経	環境と健康
細胞生物学2	調節系	行動科学と医療倫理	地域医療とチーム医療

（各学年上位5ユニット）

【10】このユニットの講義は、あなたの知識に実りをもたらすものでしたか？

10 点満点でこのユニットを採点してください。

1 年	2 年	3 年	4 年
人体の構造と機能1-1	構造系実習	行動科学と医療倫理	感染
人体の構造と機能1-3	調節系	疫学	環境と健康
人体の基礎科学1	生体防御総論	生殖器	精神
細胞生物学1	行動科学と医療倫理	神経	異状死の診断
人体の構造と機能1-2	情報系	感染	母体・胎児・新生児

(各学年上位 5 ユニット)

2023年度 ユニット評価調査の結果分析

令和 6 年 2 月 27 日

埼玉医科大学 IRセンター

<調査の概要>

ユニット評価調査は、ユニットの講義・実習・試験等がすべて終わった時に、教育内容、教育手法、試験等に対して学生がユニットごとに評価を行うものである。2023年度は、講義を主な教育方法とする1～4年生のすべてのユニットを対象として実施した。回答は、試験終了後1週間以内にSMUパスポートから回答する形式とした。

<調査の対象となったユニット>

1年生10ユニット、2年生9ユニット、3年生14ユニット、4年生15ユニットの合計48ユニットが対象となった（表1）。

<調査の内容>

本調査は2020年度から開始しているが、2023年度からは調査内容を一部変更することとなった。しかし、学務課との連携がうまくいかず、2023年7月頃までは2022年度版の旧調査票による調査が行われた（旧調査票が使用されたユニットを表1内の*で示す）。そのため、本報告では一部の質問項目において、複数の集計結果を併記している。

<回答率>

各ユニットの回答率を表1に示す。回答率の全体での平均は21.0%であった。

表1 対象ユニットと回答率

学年	ユニット名	回答率	学年	ユニット名	回答率	学年	ユニット名	回答率
1 年生	行動科学と医療倫理	13.5	3 年生	疫学	23.7	4 年生	異状死の診断	14.0
	細胞生物学 1	23.4		感染	25.9		画像	15.5
	細胞生物学 2	14.9		血液	11.5		感覚器*	24.0
	細胞生物学 3	28.3		呼吸器	23.0		感染*	24.8
	人体の基礎科学 1	19.1		行動科学と医療倫理	16.6		環境と健康*	22.5
	人体の基礎科学 2	12.1		循環器	18.7		救急・麻酔	24.8
	人体の構造と機能 1-1*	29.1		消化器	16.6		行動科学と医療倫理*	26.4
	人体の構造と機能 1-2	13.5		神経	20.1		疾病の予防と対策*	22.5
	人体の構造と機能 1-3	23.4		診療の基本	28.1		腫瘍	16.3
	地域医療とチーム医療	20.6		腎・泌尿器	30.2		小児	15.5
2 年生	エネルギー系	32.8	3 年生	生殖器	19.4	4 年生	精神*	24.8
	構造系実習*	32.1		地域医療とチーム医療	18.0		地域医療とチーム医療	17.1
	行動科学と医療倫理	17.9		内分泌・代謝	20.9		皮膚・運動器*	27.1
	情報系	17.6		免疫	28.8		母体・胎児・新生児*	27.1
	生体防御総論	19.1					免疫	20.2
	地域医療とチーム医療	17.6						
	調節系	17.6						
	病理総論	15.2						
	薬理総論	17.6						

※ 回答率の単位は%

【1】このユニットで修得すべき内容の分量に照らして、講義のコマ数はどうでしたか？ ※

1 年	2 年	3 年	4 年
地域医療とチーム医療	病理総論	感染	画像（放射線）
細胞生物学 1	生体防御総論	生殖器	地域医療とチーム医療
人体の基礎科学 2	薬理総論	循環器	腫瘍
細胞生物学 2	エネルギー系	消化器	救急・麻酔
人体の構造と機能 1-3	情報系	呼吸器	異状死の診断
	地域医療とチーム医療		

（各学年上位 5 ユニット）

【2】各講義の内容は、シラバスに沿った内容でしたか？

1 年	2 年	3 年	4 年
行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理	疫学	環境と健康
地域医療とチーム医療	病理総論	行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理
人体の構造と機能 1-1	生体防御総論	生殖器	疾病の予防と対策
人体の構造と機能 1-2	地域医療とチーム医療	内分泌・代謝	感染
人体の基礎科学 1	調節系	感染	異状死の診断

（各学年上位 5 ユニット）

【5】講義の教え方は、この領域を教える講義としてよく吟味され、洗練されたものでしたか？

1 年	2 年	3 年	4 年
行動科学と医療倫理	生体防御総論	行動科学と医療倫理	感染
地域医療とチーム医療	行動科学と医療倫理	疫学	環境と健康
人体の基礎科学 2	地域医療とチーム医療	生殖器	行動科学と医療倫理
人体の構造と機能 1-3	調節系	感染	感覚器
細胞生物学 1	病理総論	地域医療とチーム医療	異状死の診断

（各学年上位 5 ユニット）

【6】ここからの4問は試験についての質問です。試験は、シラバスに記載された目標の達成を確認するために行うものです。

この試験の目的に照らして、試験の出題形式（MCQ形式、記述形式、等）は適切だったと思いますか？

1年	2年	3年	4年
地域医療とチーム医療	生体防御総論	生殖器	感染
人体の構造と機能 1-3	行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理
人体の基礎科学 1	情報系	疫学	疾病の予防と対策
行動科学と医療倫理	病理総論	地域医療とチーム医療	異状死の診断
細胞生物学 1	調節系	免疫	環境と健康

（各学年上位5ユニット）

【7】試験の出題範囲は、シラバスに記載された学習目標に合致したものでしたか？

1年	2年	3年	4年
行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理	行動科学と医療倫理
人体の構造と機能 1-3	情報系	生殖器	環境と健康
地域医療とチーム医療	生体防御総論	疫学	異状死の診断
人体の基礎科学 1	調節系	免疫	感染
人体の構造と機能 1-1	病理総論	感染	感覚器
	構造系実習		

（各学年上位5ユニット）

※2年生は6ユニット同率1位

【9】試験の出題範囲の分量は、1回の試験で出題される試験範囲の分量としてどうでしたか？※

1年	2年	3年	4年
地域医療とチーム医療	生体防御総論	地域医療とチーム医療	異状死の診断
人体の基礎科学 1	病理総論	行動科学と医療倫理	画像（放射線）
細胞生物学 1	調節系	生殖器	地域医療とチーム医療
細胞生物学 2	地域医療とチーム医療	疫学	小児
人体の構造と機能 1-3	薬理総論	診療の基本	免疫

（各学年上位5ユニット）

【10】このユニットの講義は、あなたの知識に実りをもたらすものでしたか？

10 点満点でこのユニットを採点してください。

1 年	2 年	3 年	4 年
細胞生物学 1	生体防御総論	行動科学と医療倫理	感染
人体の構造と機能 1-1	調節系	疫学	行動科学と医療倫理
人体の構造と機能 1-3	病理総論	地域医療とチーム医療	精神
人体の基礎科学 1	情報系	感染	環境と健康
行動科学と医療倫理	構造系実習	生殖器	母体・胎児・新生児

(各学年上位 5 ユニット)

※の設問については、一部ユニットは調査対象外